



JBCF かすみがうら大会

10月16日、17日に国内最高峰の自転車レースと称される「プロツアー」が行われる大会「JBCF かすみがうらタイムトライアル」、「JBCF かすみがうらロードレース」（一般社団法人全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）主催）が歩崎地域で初開催され、年間シリーズ戦の最終戦が行われました。

タイムトライアルは、霞ヶ浦湖畔を中心とした1周4kmの平坦なコース、ロードレースは、歴史博物館前を発着点とし、霞ヶ浦湖畔や古民家江口屋付近の急斜度の登りなどハードなアップダウンのある1周4.8kmのコースを周回しました。日本最高峰のトップチームによって争われる「プロツアー」では、雨や風が選手の行く手を阻みましたが、手に汗握る展開となり、105.6kmを走り切りゴールすると、盛大な拍手が送られました。



総務省より感謝状贈呈 さかもと ちかす 坂本 千一さん

10月6日、総務省茨城行政監視行政相談センターから「行政相談委員感謝状」を贈呈された坂本千一さんが、報告のために市長を表敬訪問されました。坂本さんは、行政相談委員として総務大臣から委嘱され、地域住民の身近な相談相手として尽力された功績が認められ、感謝状が贈呈されました。「今後も地域の人たちの相談相手として、問題解決のために力を尽くしていきたいです」と贈呈の喜びを話してくれました。



苔テラリウムで作る「小さな森」

10月9日、あじさい館で「ガラスの中の『小さな森』苔テラリウム」を開催しました。テラリウムとは、透明な容器に植物などを入れて栽培するものです。参加者は苔の種類や特性について講師の説明を受けながら、熱心に製作。ピンセットを使った細かい作業に苦戦していましたが、きれいなテラリウムが完成すると喜びの表情を見せていました。受講者同士でさまざまな角度から見比べ、自分だけの「小さな森」のアートを楽しんでいました。



のびのびアフタースクール

10月11日、下稲吉小学校で「のびのびアフタースクール」が行われました。この事業は茨城県と協力し、「小学生に放課後の居場所を作る」という目的のもと、下稲吉小学校から参加希望者を募って本年度より実施しています。ボランティアの「KSC なかよしスポーツクラブ」の協力により、80人の児童が「グラウンド・ゴルフ」を体験しました。放課後の校庭をのびのびと駆け回る姿も見られ、活気あふれる児童たちの居場所となりました。



ドローンに手を振って記念撮影

10月20日、あじさい館で「ドローン操縦体験教室」を開催しました。ドローンの基礎知識や法律などの講義や操縦のシミュレーションを受け、実際にコントローラーの画面と機体を見ながら、向きや飛ばし方を講師から教わり、ドローンを飛ばして操縦体験。参加者からは「シミュレーションは難しかったけれど、操縦したら意外と簡単でした」と感想がありました。ドローンで空中から記念撮影し、素敵な思い出の1枚になりました。



雪入から眺めるスターナイト

10月23日、雪入ふれあいの里公園で「かすみがうらフェスタ 2021 ～スターナイト in 雪入～」を開催しました。「星のソムリエ」と呼ばれる星空の案内人から、満天の星空を見ながら星座の解説を受けたり、天体望遠鏡を覗き込んで観察を行いました。家族連れの参加者からは「孫と一緒に夜を満喫できました」「星空の解説が分かりやすく、子どもが興味津々で聞いていました」と感想がありました。



親子で息を合わせてランニング

10月30日、あじさい館で「親子ランニング教室」を開催しました。姿勢や腕の振り方などの走り方の基本や持久力をつけるための練習ポイント、ラダーやミニハードルなど道具を使った体の使い方について、陸上指導員から指導を受けました。教室の後半には全員でリレーを行い、親子で息の合った走りをする姿も見られました。爽やかな秋晴れの下、親子で気持ちの良い汗をかくことができました。

